

01
—
価値観を共有した
合作リノベーション

設計▼
クロリデザイン

▲ 秋田市▼N邸
本人 (50代)

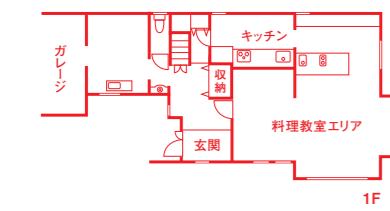
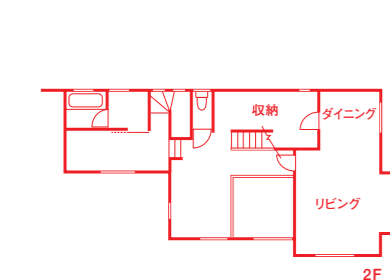
施

主のNさんは、秋田市でレストランを経営。2020年はじめからの新型コロナウイルスの影響が秋田にも及び、思わぬ形で自分の時間を持てた。築20年を過ぎた住まい、そろそろリフォームを考えていたこともあり、「この機会に」と思い立って、以前から事務所の建物を見かけていたクロリデザインのホームページを検索。リノベーション施工事例を見て、素材の選び方やバランス、照明設計、家具などのインテリア、総合的な価値観の近さを感じて訪ねたそう。

クロリデザインは、二人の建築士兼デザイナーが運営する建築会社。二人共通の価値観と違う感性によって、施主の思いに寄り添ったデザイン・設計を強みにしている。N邸においては、ベースデザインや照明、設備設計などを池田さんが担当し、素材の選定や色決めなどを仁部さんが担当。N邸のシンボリックなタイルフロアデザインは二人の合作だそう。また、Nさん自身もインテリアに造詣が深いこともあって、照明やカーテン、家具や雑貨など、三人で悩みながら仕上げていったそう。



白を基調とした室内。南東に開かれた窓から光が入り、目隠しも兼ねた庭の緑を眺められる。特徴的な床タイルのデザインは施主とクロリデザインの設計者2人との合作。



1. リノベーション前はダイニングだった場所に設けられたキッチン。1段上がった視覚を活かして装飾柱と梁を造作した。2. アクセントウォールなどのマテリアルは主にクロリデザインの仁部さんが担当。3. 2階のプライベートリビング。拡大した窓からは太平山や季節で移り変わる木々を眺められる。4. 料理教室もできるような設計されたキッチン。キッチンに立つと掃き出しの窓の先にある庭の緑を望める。5. 6. 7. 料造作のキッチンには、リノベーション前の住まいやお店で使われていたシンク、大理石、ワインクーラーを再利用。8. 吹き抜けが開放的なリビング。空気の流れや冷暖房効率も考え、リノベーションで2階部分に窓を設えて、意匠と機能を両立させた。9. リビングのソファも白・黒・グレーというインテリアに合わせてファブリックを貼り替えた。照明はNさんとクロリデザインの池田さんが相談しながら進めたそうだ。

設計・施工 株式会社 ClorieDesign 一級建築士事務所
竣工 2020/8

主な設備(施工部のみ)

- トイレ/1階 TOTO GG3、2階 TOTO ZJ ●キッチン/造作(新)、パーツ交換(旧) ●調理器具/IH(新)、ガス(旧)
- 窓仕様(主なもの)/樹脂サッシLow-Eペアガラス(新)、ガラス交換(旧) ●換気システム/キッチン局所換気

主な仕上げ材(施工部のみ)

- 床材(主なもの)/Pタイル ●内壁材(主なもの)/ビニールクロス、木製パネル塗装仕上げ

総工費・坪単価

- 建築工事費の総額/860万円台(税別)



一級建築士
池田さん



二級建築士
仁部さん

空間は、主役がN様、そして訪れるゲストであるように、家具であるようにとアイデアと一緒に練らせていただきました。N様の古きを生かす思想や発想、そしてコーディネート力にたくさん学ばせていただきました。ご縁をいただけてとても光栄でした。

CLORIE DESIGN
http://clorie.jp
☎018-838-5330 → P.120



リノベーションにあたっては、「テーマはリサイクルでした」とNさん。例えば、新たに造作したキッチンの天板に埋め込んだ大理石、流し台のシンク、ワインクーラーなどは店舗やリノベーション前の自邸で使用していたものを再利用。さらに、柱や天井、壁のあしらいを活かしながらモダンなアレンジも加えられている。そしてもう一つのテーマが「プライベートとパブリック」。1階はパブリックスペースとして料理教室もできる広々としたアイランドキッチン、窓に囲まれた明るいダイニング、吹き抜けが開放的でピアノも楽しめるリビングをL字に配置。2階にはプライベートリビングを設け、窓から太平山や季節の木々が一望できるという。マテリアルやインテリア、陽光の入り方や窓からの景色、時間の演出……。「フアイリングが合ったからできた(Nさん)の言葉どおり、Nさんを知っている人からすればNさんらしい住まいと思え、クロリデザインを知っている人からすればクロリデザインらしい住まいと思えるほど、価値観を共有した三人の合作リノベーションだ。